



現役スタートアップ経営者、元SAPIX講師の経験を活かし、
できる改革を、着実に前に進めていきます！

上田かずき 行政トップへ直談判！

上田かずきが議会で行った質問と、区長・教育長からの答弁をまとめました！

① 本区の強みを活かした “スタートアップ支援”を！

Q：中央区と言えば“商業の街”。日本橋や銀座を始め、ビジネス最適地ながらスタートアップは根付いていない。これを官民一体となって変革できないか。

A：本区の交通利便性や大企業・老舗問わず数多く存在している利点を活かし、今後スタートアップ支援を強化していく。まずはイベント活性化を検討する。

② 教員の質を上げるための “意識改革”を！

Q：未来を担う子供たちに対し、一番効果的な方法は“教員のモチベーションを高く維持する”こと。研修を双方向型に転換するとともに、ICT等の活用を。

A：教員同士が意見交換する機会を増やしつつタブレットを導入したり、集約したデータを活かすことで、研修方法の改善に取り組んでいく。



③ 企業と学校を連携し、 働きたい子供を増やす！

Q：仕事を“自己実現の手段”と感じてもらえる子供を増やしたい。そのために、職場体験の受け入れ施策を強化し、地域全体での子育てを推進すべき。

A：キャリア教育体験には既に保護者・NPO・企業さまさまざまな申し出をいただいている。今後の連携を深めながら、自らの将来や生き方を考える機会を創出する。



④ 紙主導ではなく、 デジタル中心の情報発信を！

Q：区民の約45%が39歳以下と大変若い人が多く、かつ10年あまりで倍増した外国人にも配慮するため、デジタルツールを活用した情報発信をさらに強化すべきでは。

A：HPをリニューアルしたほか、LINEのセグメント配信機能など、仕組みの整備は行ってきた。今後は、職員一人ひとりが広報に関する意識を高め、情報発信の更なる取り組み強化に努めていく。

⑤ 子育て世帯の塾代軽減と 放課後教育の格差是正を！

Q：ほとんどの子供たちが塾に通う昨今、行政として支援を検討すべきと考えるのがいがか。また、生活が苦しい世帯にも足立区のような“公立塾の創出”も検討し、貧困連鎖を断ち切るべきでは。

A：学習塾に一定の費用負担があることは認識しているが、学校給食費の無償化等を行っており、現時点で助成を実施する考えはない。生活が苦しい子供への放課後学習支援については、ニーズを踏まえて定員等の拡大を検討していく。

⑥ 区民が区内で出産する 費用の無償化を！

Q：区内には聖路加国際病院しか分娩施設がなく、費用が高額で出産一時金では足りない。区民が中央区内で出産するときの費用を無償化するように政策を進めていくべき。

A：平成29年に聖路加病院と連携し、助産院を誘致して一定の費用負担軽減を図っている。他にもお祝い金制度等があることから、出産費用の無償化については考えていない。

⑦ 長く住み続けている区民への 家賃支援を！

Q：中央区のマンション価格は10年前と比べ48.9%もの上昇をしており、中長期的に住み続けたい区民に対し、多分な影響がある。区として支援はできないか。

A：家賃支援は、公平性、公益性に加え、長期間にわたる実施が必要となり、大きな財政負担を伴うため、補助制度の導入は困難と考えている。



一般質問原稿の
全文、および区の
回答要旨はこちら



詳しい政策は

上田かずき 公式 検索

で検索！

あなたの「おかしい」や「わからない」を

上田かずきに

個人チャットで

相談しよう！

こちらのQRコードから LINE にアクセスし、ご相談をお寄せください。→

X(旧 Twitter) でも区政報告や政策に関わるニュースを発信中！

